

平成10年度リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成10年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成11年1月25日(月)にサンレイク土浦において開催された。

この検討会には、試験場関係者36名、委託関係者52名ほか、計93名の参集を得て、除草剤11薬剤(65点)、

抑草剤1薬剤(7点)、生育調節剤11薬剤(57点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成10年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AK-01 液剤 (グリホエキス) (エイトアップ) (サンフーロン) グリホサートイソプロピルアミン塩 41%	リンゴ	適用性 継 続	弘前大学、 青森りんご試 県南、 山形園試、 栃木農試、 石川農総試 (5)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 25, 50ml<5, 10ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 25ml<5ℓ>	実	実) [リンゴ: 雑草全般(スギナを除く)] ・ 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 一年生雑草対象 ; 25～50ml/a 多年生雑草対象 ; 50～100ml/a (5.0～10.0ℓ/a). ・ 茎葉処理.
		適用性 継 続	弘前大学、 青森りんご試 県南、 山形園試、 栃木農試、 石川農総試 (5)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50, 100ml<5, 10ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 50ml<10ℓ>		
		薬 害 継 続	宮城園試、 富山農技果試	[薬害試験] 春期及び夏期 200→200ml<10ℓ> 春期又は夏期 500ml<10ℓ> ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
[TAC普及会]			(2)			
2. AKD-776-MC フロアブル剤 ジクロベニル 14.7%	リンゴ	適用性 新 規	岩手大学、 福島植防	[広葉雑草及びスギナ翌春調査含] スギナ発生始期～摘期 (スギナ草丈10cm程度) 及びスギナ発生摘期～生育期 (スギナ草丈30cm程度) ; 200, 300, 400g<10ℓ> ; 土壌処理 (2) 対: DBN粒6.7 0.8Kg	継	継) ・ 効果、薬害の確認.
		薬 害 新 規	<弘前大学>、 岩手大学	[薬害試験] ①春期及び秋期 800→800g<10ℓ> ②春期 2,000g<10ℓ> ; 土壌処理 (2)		
[アグロカネショウ]			(2)			

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml<水量 ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
3. CG-231GT 7077 [®] 剤 CG-231 3.6% ク [®] リホサートイソ [®] ロビ [®] アミ ン塩 14.4% [ノ [®] アリス ア [®] カ [®] ロ]	リンゴ	適用性 継 続	北農試、 岩手大学、 秋田果試、 福島植防、 長野果試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml<10 ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウント [®] アップ [®] 液剤 50ml<10 ℓ>	実	実) [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下). ・40～60ml/a (10 ℓ/a). ・茎葉処理.
		薬 害 継 続	岩手大学、 石川農総試 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 120→120ml<10 ℓ> ②春期又は夏期 300ml<10 ℓ> ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
4. F-701 顆粒水和剤 カルフェントラゾ [®] ソ [®] ニ [®] ル 0.7% ク [®] リホサートアンモニ [®] ウム塩 25.0% [エ [®] ・エ [®] ム・シ [®]]	リンゴ	適用性 継 続	岩手大学、 岩手農研、 秋田果試鹿角、 群馬園試中山間、 長野果試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 30, 40, 50g<10 ℓ> ; 茎葉処理 対: ハ [®] ス [®] 液剤 50ml<10 ℓ>	実 ・ 継	実) [リンゴ: 雑草全般] ・夏期 雑草生育期(草丈30cm以下). ・30～50g/a (10 ℓ/a). ・茎葉処理. 継) ・春期処理の効果確認. ・薬害試験.
		薬 害 新 規	青森りんご試 県南、 岩手農研 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 100→100g<10 ℓ> ②春期又は夏期 250g<10 ℓ> ; 茎葉処理		
5. F-702 液剤 新規化合物 0.5% 既知化合物 20.0% [エ [®] ・エ [®] ム・シ [®]]	リンゴ	適用性 新 規	岩手大学、 青森りんご試 県南、 岩手農研、 長野果試、 石川農総試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 30, 40, 50, 60ml<10 ℓ> ; 茎葉処理 対: ハ [®] ス [®] 液剤 50ml<10 ℓ>	継	継) ・成分未公開. ・効果、薬害の確認.
6. HSD-972 7077 [®] 剤 ア [®] サ [®] フェ [®] ニ [®] ン 120g/l グ [®] リホサート 140g/l [ア [®] ク [®] レ [®] ホ [®] シ [®] ヤ [®] パン、 テ [®] ュ [®] ホ [®] ン、三共]	リンゴ	適用性 継 続	岩手大学、 岩手農研、 宮城園試、 秋田果試、 長野果試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 30, 40, 50, 65ml<10 ℓ> ; 茎葉処理 対: ハ [®] ス [®] 液剤 50ml<10 ℓ>	実	実) [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下). ・30～50ml/a (10 ℓ/a). ・茎葉処理.
7. MON-96A 液剤 ク [®] リホサートアンモニ [®] ウム塩 41% (つづく)	リンゴ	適用性 継 続	弘前大学、 岩手農研、 秋田果試、 富山農技果試 (4)	[一年生雑草] 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 25ml<2.5, 5(少水量散布ノ [®] ズ [®] ル)、 10 ℓ>, 50ml<5 ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウント [®] アップ [®] 液剤 25ml <2.5 ℓ (少水量散布ノ [®] ズ [®] ル)>	実 ・ 継	実) [リンゴ: 雑草全般(ノ [®] ズ [®] ルを除く)] ・春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ; 25～50ml/a 多年生雑草対象 ; 50～100 <2.5～5.0 ℓ/a (専用ノ [®] ズ [®] ル使用)、 5.0～10.0 ℓ/a). ・茎葉処理. 継) (ノ [®] ズ [®] ルは試験実施中.)
		適用性 継 続	岩手農研、 秋田果試、 富山農技果試 (3)	[多年生雑草(ノ [®] ズ [®] ルを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml<2.5, 5(少水量散布ノ [®] ズ [®] ル)、 10 ℓ>, 100ml<5 ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウント [®] アップ [®] 液剤 50ml <2.5 ℓ (少水量散布ノ [®] ズ [®] ル)>		

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量mL>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
7. MON-96A 液剤 (つづき) [日本モンサント]	リンゴ	適用性 継 続	岩手大学、 福島植防 (2)	[スギナ; 翌春調査含む] 春期 生育期(草丈20-25cm程度) ; 150mL<2.5、5ℓ>、200mL<5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラクトップ液剤 200mL<5ℓ> (共に少量散布/スル)		
	リンゴ	薬 害 継 続	岩手大学、 青森りんご試果南 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400mL<10ℓ> ②春期 1,000mL<10ℓ> ; 土壌処理		
8. NH-501 フロアール剤 (サンダーボルト) クワシオトリメシウム塩 28.5 % ピラフルフェンチル 0.19% [日本農薬、ゼネカ]	リンゴ	適用性 継 続	北海道中央農試 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40、50、60mL<10ℓ> ; 茎葉処理 対: タッチタン液剤 40mL<10ℓ>	実・ 継	(前回判定どおり) 実) [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40～60mL/a (10ℓ/a) . ・茎葉処理. 継) ・少量散布の効果確認. (・秋冬期処理は試験実施中.)
		適用性 継 続	秋田果試、 長野果試、 長野南信農試、 石川農総試 (4)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40、50、60mL<2.5、5ℓ> ; 茎葉処理 対: シンダーボルトフロアール剤 50mL<10ℓ>		
		適用性 継 続	<宮城園試>、 <長野果試>、 <長野南信農試>、 <石川農総試> (4)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 40、50、60mL<10ℓ> ; 茎葉処理 対: タッチタン液剤 40mL<10ℓ>		
9. S-878 顆粒水和剤 クワシオネット 12.0% S-482 1.2% [住友化学工業]	リンゴ	適用性 継 続	北海道中央農試 (1)	[一年生雑草] 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 30、50g<10ℓ> ; 茎葉・土壌処理 対: フリクソックスL液剤 100mL<10ℓ>	実	(前回判定どおり) 実) [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ; 30～50mL/a 多年生雑草対象 ; 50～100mL/a (10ℓ/a) . ・茎葉処理.
		適用性 継 続	北海道中央農試 (1)	[多年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50、100g<10ℓ> ; 茎葉・土壌処理 対: パス液剤 50mL<10ℓ>		

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
10. SC-224 液剤 (タッチダウン) グリホサートリンジウム塩 38% [ゼネカ]	リンゴ	適用性 継 続	弘前大学、 青森りんご試 県南、 宮城園試、 長野果試、 長野南信農試 (5)	[雑草全般] 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40ml<0.4, 1ℓ> 50 <1ℓ> 60 <0.4, 1ℓ> (専用ノズル使用) ; 茎葉処理 対: タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>	実 ・ 継	[リンゴ: 雑草全般] ・ 春～秋冬期 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 春～夏期; 20～60ml/a<2.5～5(専用ノズル 使用)、10ℓ/a>、 (但し、20mlは一年生雑草主体の 場合)、 40～60ml/a<1.0(専用ノズル使 用)ℓ/a>. 秋冬期; 20～40ml/a<10ℓ/a>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 0.4ℓ/a散布の効果確認. (・ 秋冬期5ℓ散布は試験実施 中.)
	リンゴ	適用性 継 続	青森りんご試 県南、 宮城園試、 秋田果試、 長野果試、 長野南信農試> (5)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 50ml<5, 10ℓ> ; 茎葉処理 対: タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>		
11. YF-65① 液剤 (フリグロックスL) (マイゼット) ジクワット・プロミット 7% ハラコート・クロイト 5% [ゼネカ]	リンゴ	適用性 継 続	岩手大学、	[多年生雑草及びスギナ 翌春調査含む] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 100、150、200ml <10ℓ(展着剤加用)> ; 茎葉処理 (1) 対: ハラス液剤 100ml<10ℓ>	—	(・ 試験実施中.)
		薬 害 新 規	弘前大学、 石川農総試	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期又は夏期 1,000ml<10ℓ> (共に展着剤加用) (2)		

B. 抑草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. KUH-913 液剤 (グラスショット) ビスピリハクナトリウム 3% [クワイ化学工業]	リンゴ	適用性 新 規	岩手大学、 青森りんご試、 岩手農研、 宮城園試、 長野果試 (5)	[雑草全般(イ科牧草含む)] 生育初期又は草刈り後 (草丈10～20cm) ; 30、40、50ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: フリグロックスL液剤 80ml<10ℓ>	継 継)	・ 効果、薬害の確認。
		薬 害 新 規	長野果試、 富山農技果試	[薬害試験] ①春期及び夏期 100→100ml<10ℓ> ②春期又は夏期 250ml<10ℓ> ; 土壌処理 (2)		

C. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-8068 水和剤 ネキサリン系 12.5% トリクロホン 25.0% [アガ・カネショウ]	リンゴ (ふじ)	作用性 継 続	筑波大学 (1) 自主; 筑波大学(つがる)	[摘葉] (参考設計) ; 収穫50、45、40日前 ; 500倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理	実 継	実) [リンゴ(ふじ): 摘葉効果] ・ 収穫前40~50日. ・ 500倍液. ・ 立木全面散布. (継) ・ 処理時期、濃度、気象条件の 確認.
		適用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試、 秋田果試鹿角、 山形園試、 福島果試、 長野南信農試 (7)	[摘葉] ; 収穫50、45、40日前 ; 500倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理		
2. AKD-8086 水和剤 既知化合物A 12.5% 既知化合物B 25.0% [アガ・カネショウ]	リンゴ (ふじ)	作用性 新 規	筑波大学 (1) 自主; 筑波大学(千秋)	[摘葉] (参考設計) ; 収穫50、45、40日前 ; 500倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理	継	(継) ・ 成分未公開. ・ 効果、薬害の確認.
		適用性 新 規	岩手大学、 青森りんご試、 岩手農研、 宮城園試、 秋田果試、 山形園試、 長野南信農試 (7)	[摘葉] ; 収穫50、45、40日前 ; 500倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理		
3. AKD-857 液剤 MCPBエチル 3% [アガ・カネショウ]	リンゴ (ふじ)	作用性 継 続	岩手大学、 筑波大学 (2)	[摘花] (参考設計) ①中心花開花始めから 2~3日後(人工授粉後) ②同4~5日後(人工授粉後) ; 3,000、2,000、1,500倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理	継	(継) ・ 処理時期、濃度の再検討. ・ 薬害(エビ・ナステイ)の確認.
		適用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試、 秋田果試鹿角、 山形園試、 福島果試、 長野南信農試 (7)	[摘花] ①中心花開花始めから 2~3日後(人工授粉後) ②同4~5日後(人工授粉後) ; 3,000、2,000、1,500倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理		
4. CS-2H 水溶剤 硫酸カルシウム二水和物 57% 塩化カルシウム 27% その他 16% [白石カルシウム]	リンゴ (王林・ 北斗・ シ・ヨナ コールド 等)	作用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試 (3)	[Ca欠乏症防止・貯蔵性 (硬度、油あがり等)の向上] 処理時期、回数等は別途協議 ; 枝別散布 < 果実から滴り落ちる程度 > 対: 一任	-	-

C. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 〔ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
5. J T P - 1 0 1 液剤 既知化合物 30%	リンゴ (ふじ ;無袋)	作用性 新 規	北農試 (1)	〔摘葉〕 収穫 5 0、4 0、3 0 日前 ; 0. 5 ℓ (1 0 0 倍液) 1. 0 ℓ (5 0 倍液) ;枝別散布 <茎葉から滴り落ちる程度> 対:無処理	継	継)・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。
〔日本たばこ産業〕		適用性 新 規	岩手農研、 秋田果試 (2)	〔摘葉〕 収穫 3 0 日前 ; 0. 5 ℓ (1 0 0 倍液) 1. 0 ℓ (5 0 倍液) ;枝別散布 <茎葉から滴り落ちる程度> 対:無処理		
6. N B - 3 0 液剤 塩化カルシウム 7% 有機酸キレートカルシウム 6%	リンゴ (王林)	作用性 新 規	岩手農研、 秋田果試 (2)	〔ビタビット予防、 (油上がり・内部褐変予防)〕 ①落花直前、落花直後、落花 1 0 日後の 3 回散布 ②落花 2 0 日後から 1 0 ～ 1 4 日間隔で 3 回散布 ③ 同上の 5 回散布 ; 1 0 0 0 倍;枝別散布 <慣行量;展着剤加用> 対:無処理	—	—
7. P D J 液剤 n-Propyl Dihydroj asmonate 5%	リンゴ (つがる ;無袋)	適用性 継 続	群馬園試中山間、 長野果試、 長野南信農試 (3)	〔果肉先熟(暖地)リンゴ ;果実成熟(着色)促進〕 ;収穫予定 3 0 ～ 2 5 日前 ;1,000,700,500倍液 ;枝別散布 <茎葉から滴り始める程度> ストップ-ル液剤を慣行使用 (混用可) 対:ストップ-ル液剤 慣行量	実・ 継	実) 〔リンゴ(暖地栽培のつがる): 果実の着色促進〕 ・収穫予定 3 0 ～ 2 5 日前。 ・ 5 0 0 倍液。 ・ 立木全面散布。 注) ストップ-ル液剤を慣行使用(混用可)する。 継) ・ 効果の確認。 ・ 貯蔵性等の確認。
	リンゴ (ふじ ;無袋)	適用性 新 規	岩手大学、 秋田果試、 山形園試、 群馬園試中山間、 <長野果試> (5)	〔果実の成熟(着色)促進〕 ;収穫予定 4 0 ～ 3 0 日前 ; 5 0 0、3 0 0、1 0 0 倍液 ;枝別散布 <茎葉から滴り始める程度> 対:無処理	継	継)・効果の確認。
	リンゴ (ふじ)	適用性 新 規	秋田果試、 山形園試、 長野果試 (3)	〔摘花〕 中心花開花 1 0 日前 ; 3 0 0、2 0 0、1 0 0 倍液 ;枝別散布 <茎葉から滴り始める程度> 対:無処理	継	継)・効果の確認。
〔日本ゼオン〕						

C. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml < 水量 ml > / a ; 処理方法等	判 定	内 容
8. PDJ + GA ₃ (現地混用) 液剤 n-propyl Dihydrojasmonate (DPJ) 5% Gibberellic Acid (GA ₃) 4% [日本ゼン・オ、トマン]	リンゴ	作用性 継 続	秋田果試、 < 長野果試 >	[果実肥大、品質に及ぼす影響] 摘果終了後(満開後30日頃) ; ①PDJ 12.5ppm + GA 12.5ppm ②PDJ 25 + GA 25 ③ GA 25 ; 枝別散布<茎葉から滴り始める 程度> 対: 無処理	—	(・果実肥大促進で適用性試験 に移行。)
9. RIC-1 (ケルパック66) 海藻モシネット	リンゴ	適用性 継 続	青森りんご試 県南、 長野果試 (2)	[果実品質、収量に及ぼす影響 ; 3年目] 申請書参照	継	(継) ・効果の確認。
[ロイヤルインダストリーズ]	(ふじ)	作用性 継 続	北農試、 < 千葉大学 >	[苗木; 根及び地上部の発育生長 等に及ぼす影響; 3年目] ; 3~4月 ; 原液1、2、3、5ml/樹<1-3ℓ/樹> ; 灌水処理 (2) 対: 無処理<水1-3ℓ/樹>	実 継	[リンゴ; 根の発育促進] ・消雪後~4月 ・原液1~3ml/樹 (1.0~3.0ℓ/樹) . ・灌水処理。 (継) ・効果の確認。
		適用性 継 続	岩手農研、 長野南信農試 (2)	[大苗育苗; 根及び地上部の発育 生長等に及ぼす影響; 3年目] ; 3~4月 ; 原液1、2、3、5ml/樹<1-3ℓ/樹> ; 灌水処理 (2) 対: 無処理<水1-3ℓ/樹>		
		適用性 新 規	岩手農研 (1)	[M9台大苗定植後処理 ; 根及び地上部の発育生長等に 及ぼす影響; 3年目] ; 3~4月 ; 原液1、2、3、5ml/樹<1-3ℓ/樹> ; 灌水処理 (1) 対: 無処理<水1-3ℓ/樹>		
10. RIC-12 水溶剤 水溶性カルシウム 13% [ロイヤルインダストリーズ]	リンゴ (王林)	適用性 継 続	岩手大学、 青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試 (4)	[ビタービット及びサビの予防] 申請書参照 ; 立木全面散布(展着剤加用) 対: 無処理	継	(継) ・効果の確認。
11. KC-1129 水溶剤 蟻酸カルシウム 98.3% [見栄化学]	リンゴ	適用性 新 規	青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試、 長野南信 (4)	[摘花効果及び葉害の検討] ; 中心花満開2~3日後処理 以後2~3日毎1~2回 ; 100、300、500倍	継	(継) ・効果の確認。